

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月15日現在

機関番号：17201

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22520185

研究課題名（和文） 日本近代文学の「上海」による活性化と日本近代文学の上海文学への影響との比較研究

研究課題名（英文） Comparative study of activation of the Japanese modern literature by Shanghai and influence from the Japanese modern literature in Shanghai literature

研究代表者

浦田 義和 (URATA YOSHIKAZU)

佐賀大学・文化教育学部・教授

研究者番号：00151944

研究成果の概要（和文）：「上海」の日本近代文学に及ぼした影響と、日本近代文学が上海文学に及ぼした影響を比較し検討した結果、前者については、明治期から大正前期にかけてのいわゆる「シナ趣味」の流行、大正後期から昭和戦前期における政治社会的動向の反映が見られる一方、後者については、大正後期から昭和初期のプロレタリア文学およびモダニズム文学の影響に限定されるという違いが明らかになった。

研究成果の概要（英文）：I compared and considered the influence on the Japanese modern literature of Shanghai, and the influence which Japanese modern literature had on the Shanghai literature.

As a result, about the former, the "China hobby" of the Meiji and Taisho term and reflection of the political society trend of the Showa term were seen. On the other hand, the influence on the Shanghai literature is limited to the modernism literature in early stages of Showa from the second half of Taisho.

This difference became clear.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,000,000	900,000	3,900,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：上海文学、植民地文学、日本近代文学、横光利一、新感覚派文学、佐藤春夫、金子光晴、日本近代文学とアジア

1. 研究開始当初の背景

「上海文学」に関するこれまでの研究は、主に中国（現代）文学研究者によって進められてきた。たとえば、中国近代文学

の最重要作家魯迅についての、竹内好、増田渉、丸山昇、あるいは最近の藤井省三などが挙げられる。また、魯迅とかかわる中国左翼作家連盟いわゆる左連作

家としての郭沫若、郁達夫、田漢、沈從文、丁玲、関露、蕭紅らについて、九州大学郭沫若研究会や中国文芸研究会ほかの研究会、あるいは東京大学、大阪外国語大学、立命館大学など各大学の中国文学の研究会での研究発表や論文がある。日本近代文学とのかかわりについては、左連作家とのかかわりだけでなく、中国新感覚派との関わりがもう一つの対象である。中国新感覚派の作家、劉訥鷗、穆時英、施蛰存らについての研究は、立命館大学の斎藤敏康氏ほかのものがあるが、詳細な研究はこれからである。

2. 研究の目的

日本近代文学において上海がどのように描かれ、そしてそのことは個々の作家の文学をどのように変貌させたのかを分析するとともに、日本作家と上海左翼連合作家とのかかわり、および日中双方の新感覚派文学とのかかわりをその同質性と異質性について明らかにする。

以上の分析を通して、日中双方の文学への異文化刺激の積極的意義を把握し、その上で、これまで積み重ねてきた沖繩、朝鮮、台湾、南洋、さらに満洲を視野に入れて、それらの植民地文学との比較を通してアジアの植民地文学の総体への視野を提出する。

3. 研究の方法

上海文学についての日本近代文学全般の作品および文献を収集・整理し、その中から、特に昭和戦前・戦中・戦後期の特徴的な作家・作品について抽出する。抽出した作家・作品とかかわる中国人作家作品に関する資料を収集・整理す

る。その上で、主にプロレタリア文学と上海、新感覚派と上海に分けて、両者の比較を行う。また、国内研究者、国外研究者との交流を通じて、情報交換を行う。

日本国内資料・情報に関しては、国立国会図書館などの機関、および大学図書館、大学や研究機関などに出向くとともに、学会、研究会やシンポジウムなどに参加して収集を行う。国外資料・情報に関しては、上海市立図書館や資料館、華東師範大学、復旦大学などに出向いて実施する。

4. 研究成果

(1) 基本的資料及び関連資料の収集

- ① 雑誌掲載上海関係文献収集
『改造』他
- ② 個別作家上海関係資料収集
金子光晴、草野心平、村松樟風他
- ③ 上海文学関係復刻書籍収集
ゆまに書房『文化人の見た近代アジア』など。
- ③ 国外文献資料収集
『上海図書館蔵旧版日文文献総目』
『左聯画史』他)

(2) 国内外国際シンポジウム参加、研究機関訪問などを通じた研究者交流及び情報収集

- ① 国外研究者との交流
北京・清華大学、南京大学、上海の華東師範大学、同じく復旦大学の日本文学研究者との交流、情報収集
- ② 日本国内研究者との交流
人間文化研究機構国際日本文化研究センター、日本各地の大学所属の研究者など

(3) 得られた知見

以上の資料収集、情報収集を整理し、分析した結果、次の諸点が明らかになった。

- ① 日本近代文学における「上海」の影響
明治初期の上海に関する知識人の一般的観点は、たとえば幕末の志士高杉晋作に代表されるように西洋植民地に支配される中国人社会ということであった。一方、たとえば明治期のすぐれたジャーナリストであり文学者

の田岡嶺雲においては、国家観の欠如と民族力の評価であった。田岡以降の芥川龍之介や谷崎潤一郎、佐藤春夫らの上海観も、ほぼ田岡上海観を踏襲している。このような明治期・大正前期の文学者の上海観の特徴は、作家のアイデンティティを揺るがすようなものではなく、文人墨客的な趣味性、いわゆる「シナ趣味」の域を出なかった。これに比べ、大正後期から昭和戦前期においては、激動する上海の政治社会的現実を直視した上海観が表れる。たとえばプロレタリア文学陣営の村松樟風や日本新感覚派の横光利一や詩人の金子光晴らである。彼等の営為によって、国際的視点や新たな人類観が獲得された事が明らかになった。

- ② 上海文学における日本近代文学の影響
従来は、中国の近代化に功績のあった梁啓超における明治期の福沢諭吉の影響や、郁達夫における大正期の佐藤春夫の影響などが研究されてきた。これらに対して昭和戦前期上海文学への影響の顕著な特色は、上海における日本租界での日本人による文学活動の上海文学への影響である。それは主に魯迅らを通じて日本プロレタリア文学運動が影響するとともに、上海の新文学運動として、モダニズム文学運動の影響であった。殊に上海文学においては、プロレタリア文学運動も新感覚派運動も同じく革命的な新文学運動であった点が確認された。これからの課題として、現地における双方の文学運動の詳細な調査と、南京での文学運動との関係の究明である。
- ③ 他の旧植民地文学と関係する上海文学研究の課題
朝鮮、満洲、台湾、上海各地における旧日本植民地時代の文学を研究する上で、西欧のロマン主義文学やマルクス主義文学の各地への影響関係を考究する必要が明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 浦田義和
「日本近代文学と南島」、報告集「東アジアの文化交流における旅の表象」(中国・清華大学外国語文学学部日本語学科)、査読有、2012年、P49-52

- ② 浦田義和
「大量死と文学表現」社会文学、査読有、2012年、36巻、P91-104

[学会発表] (計2件)

- ① 浦田義和
「日本近代文学と南島・南方・南洋」、中日国交正常化40周年記念国際シンポジウム「東アジアの文化交流における旅の表象」(於、中国・清華大学)2012年7月28~29日
- ② 浦田義和
「朝鮮作家張赫宙をめぐる徳永直と神保光太郎」(於、熊本大学)2012年2月12日
- ③ 浦田義和
「日本近代文学と南」法政大学沖縄文化研究所(於、法政大学)2011年10月21日
- ④ 浦田義和
「大量死に文学言語は立ち向かえるか」中国社会科学院日本研究所・日本社会文学会(於、中国社会科学院日本研究所)2011年9月18日
- ⑤ 浦田義和
「神保光太郎とアジア」人間文化研究機構(於、国際日本文化研究センター)2011年3月5日
- ⑥ 浦田義和
「日本近代作家の上海イメージの形成と呪縛からの解放可能性」、中国・南京大学、人間文化研究機構国愛日本文化研究所共同国際シンポジウム「東アジアにおける知的体系の再構築」(於、中国・南京大学人文社会科学高級研究院)2010年9月25日
- ⑦ 浦田義和
「沖縄文学の想像力」日本社会文学会(於、フェリス女学院大学)2010年6月19日

[図書] (計1件)

- ① 古閑章、浦田義和、他
南方新社、『仕方がない日本人』2010年、本人論文「高村光太郎と金子光晴」P77-105

[産業財産権]

○出願状況 (計0 件)

なし

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0 件)

なし

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

浦田義和 (URATA YOSHIKAZU)

佐賀大学・文化教育学部・教授

研究者番号: 00151944

(2) 研究分担者

なし ()

研究者番号:

(3) 連携研究者

なし ()

研究者番号: